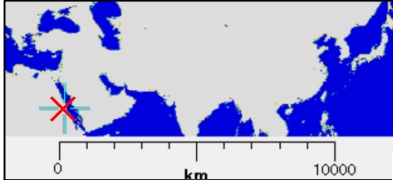


2024年9月3日

YACかわら版 493

ダム決壊 はっかい



「ダム」の役割について、栃木県のウェブサイトは、図をつけて次のように説明しています。

- ・洪水から守ります
- ・川の水を利用しやすくします
- ・川の環境を守ります
- ・電気をつくります

https://www.pref.tochigi.lg.jp/h07/kidspage/kids_dam.html

私たちの生活と深くかかわっている「ダム」ですが、予期せぬ大雨が原因で外国では次のような事故が発生しました。

「スーダンのダム決壊（はっかい）による洪水が人道危機を悪化させる」と8月27日の国連ニュースが伝えています。ポートスーダンの北西約38kmの**アルバートダム**が8月25日に決壊し、スーダン東部の約20の村が「破壊」され、全体で70の村が影響を受けたと伝えられており...

<https://news.un.org/en/story/2024/08/1153651>

アルバートダムは、スエズ運河の南の紅海の西側から、約34kmの内陸部にあります。湧き水と雨水をためるために建設され、ポートスーダンまで送水管も引かれていました。ダムの容積は約2500万 m^3 です。東京ドームの容積が約124万 m^3 ですから、東京ドーム約20杯分です。

（東京ドーム1杯は、1辺が約107mの立方体です）

ダム決壊で。ダムにたまっていた500万 m^3 もの土砂がダム下流に流れ、農業と水の供給への大きな被害も心配されています。

スーダンの洪水はESAの「EMSR750」がくわしく説明しています。

<https://rapidmapping.emergency.copernicus.eu/>

<https://rapidmapping.emergency.copernicus.eu/EMSR750/reporting>

自然災害が発生した時、衛星データを活用し状況を調べ、地図として情報を整理しだれもが利用できる仕組みは、ありがたいですね。

「EMSR750」の資料には空間分解能0.5mのフランスのプレアデス衛星データを利用したダム下流の浸水状況を説明もあります。 ④

災害時に衛星データは大きな役割を果たしています。

2024-08-11

センチネル2トゥルーカラー



周囲は植生がほとんど見当たらない

ポートスーダン

2024-08-11



2024-08-31

